

令和 3 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ミタ タカアキ
氏名 見田 隆鑑

研究期間 令和 3 年度

研究課題名 大学と地域が連携した文化財の保存・活用事業に関する実践的研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	見田隆鑑	文化情報学部	准教授
研究分担者	栢窪優二	文化情報学部	教授
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

地域の文化財を保存・継承する担い手の不足、文化行政の予算削減、専門的な人材不足、文化財の相次ぐ盗難など、文化財の保存・活用事業が抱える課題に対し、本研究では、大学と地域の博物館・行政が連携することで、地域に伝わる文化財（特に仏像）の保存と活用を促進し、その事業モデルを構築することを目指す。ハイビジョン映像やインターネット配信、デジタルデータの活用など、最新の情報通信技術（ICT）を活用し、大学と地域が連携した文化財の保存・活用事業の可能性を実践から検証する。また、本研究には学生が参加して情報発信することを通して、若い世代にも地域の文化財について関心を持ってもらえる機会になるものと考えている。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

本研究では、美術史学を専門領域とし、地域の文化財調査にも多く関わっている研究代表者（見田）が、地域の博物館もしくは行政の文化財関係の担当者と折衝し、共同研究全体の取りまとめを行うとともに、地域の文化財の学術的な調査研究を実施し、それらの基本情報を取得・整理する。また、映像ジャーナリズムを専門とする研究分担者（栢窪）と共同で、地域に伝わる文化財（特に仏像）の中から社会に広く情報発信すべき対象を選定し、4分程度で視聴できるハイビジョン映像作品を制作するとともに、YouTube および研究代表者（見田）が管理する「地域文化・仏像バーチャルミュージアム」のホームページで映像を配信する。本研究を通じた調査・撮影によって得られた文化財のデータ及び成果物は地域に還元し、地域の博物館や文化財関係部署で今後活用を図ってもらえるようにする。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

本年度も新型コロナウイルスの感染状況の影響で、実地調査及び映像記録の制作ともに当初の予定よりかなり規模を縮小して実施せざるを得ない部分があったが、名古屋市昭和区にある八事山興正寺の総本尊である銅造大日如来坐像（名古屋市指定文化財）とその雛形にあたる銅造大日如来坐像（試仏・名古屋市指定文化財）の映像記録の制作と公開および蟹江町にある蟹江山常楽寺龍照院の本尊・木造十一面観音菩薩立像（重要文化財）と大日堂の木造大日如来坐像（蟹江町指定文化財）の映像記録の制作と公開を行うことができた。

八事山興正寺の大日如来坐像は、これまで制作を行ってきた名古屋市仏像シリーズの流れに位置づけられる作品で、名古屋三大仏と呼ばれる仏像のうち、中区栄国寺の木造阿弥陀如来坐像、熱田区雲心寺の木造阿弥陀如来坐像は既に映像制作と公開ができていたが、撮影を残していた一体を映像化することができた。撮影にあたっては興正寺及び興正寺で文化財等を扱っている職員の協力をいただき、通常公開されていない総本尊の背面に刻まれた銘文や試仏の姿を映像に収め、広く公開することができた。

蟹江山龍照院の仏像の撮影にあたっては、蟹江町歴史民俗資料館に協力を頂き、重要文化財である秘仏・木造十一面観音菩薩立像と蟹江町指定文化財である大日堂の大日如来坐像の映像記録の制作を行うことができた。このうち、木造大日如来坐像の映像記録については YouTube で一般公開したが、木造十一面観音菩薩立像については映像記録は制作したが、「秘仏」というこの仏像の信仰上の位置づけや、地域の信仰への配慮などもあり、YouTube での一般公開は避けた。ただし、寺院もしくは地域で映像記録を活用する機会がある可能性もあることから、2体の映像記録を収録した DVD を寺院及び蟹江町歴史民俗資料館に寄贈する形をとった。

この他、一宮市仏像シリーズの継続撮影で 1 件撮影原稿を作成したが、期間内に撮影を実施することが出来なかった為、近く撮影を実施し、映像の制作と公開を進めて行きたい。

4. キーワード (本研究のキーワードを 1 項目以上 8 項目以内で記載)

① 仏像	② 仏教美術	③ 映像記録	④ デジタルアーカイブ
⑤ 興正寺	⑥ 龍照院	⑦ 地域連携	⑧ 大日如来

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

本研究の研究成果は、下記の形で公開している。

(1) 地域文化・仏像シリーズ

名古屋・八事山興正寺 銅造大日如来坐像 <https://youtu.be/v332WkTavsY>

(2) 地域文化・仏像シリーズ

蟹江山常楽寺龍照院 大日如来坐像 <https://youtu.be/591UYw1cnBc>

上記の YouTube 動画は、椋山女学園大学の YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/user/SugiyamaUniv/playlists>) で公開しており、この他に研究代表者が管理する「地域文化・仏像バーチャルミュージアム」(<https://bjvm.ci.sugiyama-u.ac.jp>) のホームページ上でも公開している。

映像記録の制作と公開に関しては、引き続き作業を継続して実施していく。